



2016 年 6 月 14 日

By ミケパパ

自動アップグレード :

マイクロソフトが、ユーザーの知らぬ間に (?) 更新プログラムを送り付け、おかげで「朝スイッチを入れたら、勝手にウィンドウズ 10 (W10) へのアップグレードが始まった」という騒ぎが先月半ばにありました。

わがパソコンクラブといたしましては、「アップグレードしても悪いことはなさそう」なので、「自動で更新されるなら、させておきましょう」ということを正式見解にしております。

この「自動アップグレード」ですが、

1. 「Windows update」を「自動更新」に設定している人 (工場出荷状態は、これ) に起こる
2. アップグレードを妨げるようなアプリがあると中断する
3. デバイスが W10 に合致していないと中断する
4. 中断した場合、自動で元の OS (W7 や W8.1) に戻る

ということのようです。

よって、2 や 3 が原因で? 「いつまでたってもアップグレードしない、できない」人もいます。

現に、けやき倶楽部幹事会のパソコンも、「ディスプレイデバイスが W10 に対応しておりません」というメッセージが出てアップグレードできません。 W7 のままです。

筆者は、パソコンクラブのアドバイザー故、いろいろ聞かれないうちに慣れておかなかちゃあ…ということで、5 月 5 日に、マイクロソフトのページから手動でアップグレードしました。 2 回中断し、フリーソフトや普段使っていないアプリを削除したらなんとか完了しました。 パソコンは、2011 年 3 月 21 日、大震災の 10 日後に購入した FMV -A54 です。 OS は評判の良かった W7 でした。

いずれにしましても、マイクロソフトは

「今後、W10 はアップグレードを続ける。 新しいウィンドウズのバージョンは発売しない。 W7 や W8.1 はいずれはサポートを終了する」と発表しておりますので、ユーザーとしましては古い OS はいずれ使えなくなる。 「否応なく」W10 に慣れるしかありません。

W7 からのアップグレード後 :

1. 画面は W7 とほぼ同じ
2. 従来使っていたソフト(アプリ)はほぼそのまま使える

で、「いったい何のためのアップグレードか?」と最初は戸惑いました。

(画面の「タイル表示」が使いづらかったせいでしょうか、W8 からのアップグレードは評判がいいようです)

ちなみに、マイクロソフトの発表では、W7 や W8.1 から W10 への「無償」アップグレードは、2016 年 7 月 29 日までで、それ以降は有償だそうです。

「アップグレードか、プレインストール版を購入すべきか？」:

現在のパソコンは購入後5年になりますので、新しく購入するかどうか?も検討しました。

新規購入の場合、お金はかかりますがオフィスの最新版が購入できます。(ただし、なぜかオフィス2013です。最新の2016は、購入後無償でダウンロードするのだとか)

しかも、このプレインストール版のオフィスは、将来無料でアップグレードをしてくれるそうです。W7からのアップグレードでは、こういう特典はありませんので、オフィスは2010のまま。そうしますと、当然有料ですが最新のオフィスがほしくなります。「無償アップグレード」と、マイクロソフトが一見太っ腹なことを言っているのは、ここら辺が狙いなのか? 考えてしまいます。


アップグレード後1か月あまり使ってみたメリット、デメリット(W7と比較して):

ー一部、友人知人からの情報もありますー

メリット:

1. 起動が早くなった。動作も早い。(同時期にメモリを4GB→8GBに増設しましたので、この影響もあるとは思いますが、ネットでも同じ評価が見られます)
2. 新機能いろいろ。特に、タスクビュー。作業中のファイルが一覧できるので、切り替えが容易になった。
3. その他、コルタナ、天気予報、映画アプリがダウンロードできるなど、面白い新機能がいくつか。

デメリット:

1. 同じことを、新しいやり方でやらねばならず、面倒。(これはOSが変わったのだから当然ですが)
2. 特にエッジ(Edge)。  これはインターネットに接続したときに、標準で起動するブラウザです。従来のインターネットエクスプローラー(IE)に代わるものだとか。ツール、コマンドがどこにあるかわからず、使い勝手が悪いです。
3. メールソフトとして、Windows Live メール(WLM)を使っていた人にはいろいろとトラブルが生じている(らしい)。それ故、この際Outlookに変更する人もいる。
4. One drive、無線ルーターの設定などにトラブルが生じた(これは知人の話)。

エッジについては、やはりメリット・デメリットがあります。 

1. ウェブサイトの読み込みは速い。メモリも食わない。
2. 「Web note 機能」→画面に文字を書き込める。書き込んだ画面はOne noteに保存できる。「クリップ」で、範囲指定してコピーが簡単にできる。
3. IEだと文字化けしていたOCNメールの添付ファイルが、文字化けせずに簡単にダウンロードできる。
4. IEだと簡単にできた「範囲を選択して印刷」ができない。→代わりに、前述の「クリップ」機能や、「Snipping tool」を使って、印刷したい範囲を切り取り、保存または張り付けて印刷せよということのようです。

→[Snipping tool](#)  の使い方

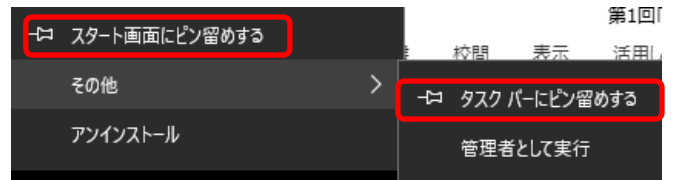
「スタート」を押すと出てくる画面、最初は戸惑いますが、触ってみて、慣れましょう。



\* W7 の「コントロールパネル」「コンピューター」→「設定」に含まれます。 直接出したいときは、「スタート」マーク上で右クリックしてください。

\* シャットダウンは「電源」をクリック

\* 「すべてのアプリ」で付属のソフトウェアやアプリが表示されます。 よく使うものは、名前の上で右クリックすると「スタート画面にピン止め」や「タスクバーにピン止め」ができます。



\* タスクバーには、左から「スタートボタン」「コルタナ」「タスクビュー」「エッジ」「エクスプローラー」「ストア」が並んでいます。(○で囲われたもの)

- ・「スタート」(ウィンドウマーク) →上記の「スタート」画面を出します。
- ・「コルタナ」→インターネットにつながなくても、検索ができます。 音声、記述双方で可能。
- ・「タスクビュー」→作業中のファイルが同時に複数表示されます。
- ・「エッジ」→インターネット用ブラウザ「エッジ」を起動します。
- ・「エクスプローラー」→HDD や USB メモリなどのファイルの一覧を表示します。
- ・「ストア」→マイクロソフトが推奨の無料・有料アプリがダウンロードできます。

壊れる心配は少ないので、いろいろ触って慣れましょう。

今回はここまで。